



令和元年 9月18日  
福島河川国道事務所

## 高校生が相馬福島道路の工事現場を体験します。 ～建設業界の役割や魅力を伝えることを目的に現場見学会～

東北中央自動車道(相馬福島道路)は、震災復興のリーディングプロジェクトとして、令和2年度の全線開通を目指して、事業を進めているところです。  
この見学会は、(一社)福島県建設業協会が主催の建設工事現場見学事業で、建設業界の役割や魅力を伝えること、若年者の職業意識を高めることを目的に、平成2年度から県内の高校生等を対象に実施しているものです。  
国土交通省では建設工事現場の見学受け入れを行っており、見学会を通して、高校生の皆さんに相馬福島道路の役割を理解していただくとともに、建設業の役割や土木工事の魅力に直接触れていただきたいと思います。

### 1. 日時

<第1回>令和元年 6月12日(水) 10:50~14:20程度(県立喜多方桐桜高校 33名) 実施済  
<第2回>令和元年 9月19日(木) 10:55~14:25程度(県立福島明成高校 40名) **今回実施**  
<第3回>令和元年10月30日(水) 時間未定(県立二本松工業高校 40名)

### 2. 概要

東北中央自動車道(相馬福島道路)の工事現場にて、工事中でなければ見ることの出来ない土木工事の施工状況を見学していただきます。

第2回見学会は“ICTを活用した工事現場(※)”、“(仮)上保原トンネル”、“(仮)阿武隈川橋”、“(仮)桑折高架橋”で開催します。

※建設現場の生産性向上を目指し、施工プロセスの各段階で3次元データを活用する工事

#### 【主なスケジュール】

- ・令和元年9月19日(木) 午前 10:55までに現地(別添位置図①参照)にお集まり下さい。  
午後 13:25までに現地(別添位置図②参照)にお集まり下さい。
- ・<第3回>の予定については、別途お知らせいたします。

### 3. 取材について

現場に入場する際はヘルメットの着用をお願いします。事前に連絡をいただければこちらで用意します。

<<発表記者会：福島県政記者クラブ、福島市政記者クラブ>>

#### 【問い合わせ先】

国土交通省 東北地方整備局 福島河川国道事務所  
福島県福島市黒岩字榎平36 TEL 024-546-4331(代表)

副所長(品確) たねいち 種市 まさる 優 (内206)

#### 【事業に関するお問い合わせ】

工務第二課長 くろぬま 黒沼 まさとし 正敏 (内411)

#### 【見学に関するお問い合わせ】

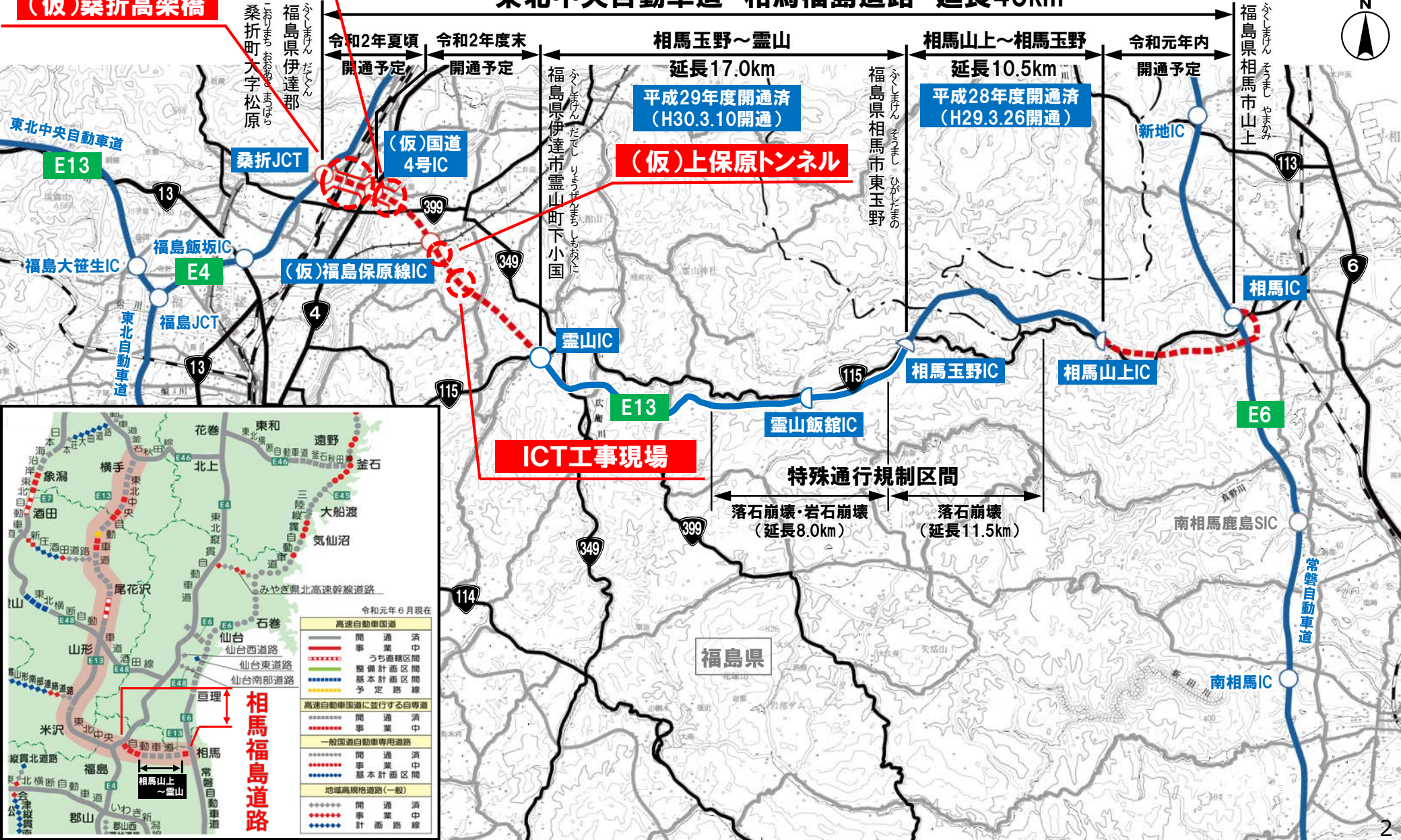
計画課長 しもだ 下田 いちろう 一郎 (内261)

# 位置図

凡例

- ■ ■ ■ ■ : 事業中区間
- — — — — : 開通済区間

## 東北中央自動車道 相馬福島道路 延長45km



(仮)阿武隈川橋

(仮)桑折高架橋

令和2年夏頃開通予定  
令和2年度末開通予定

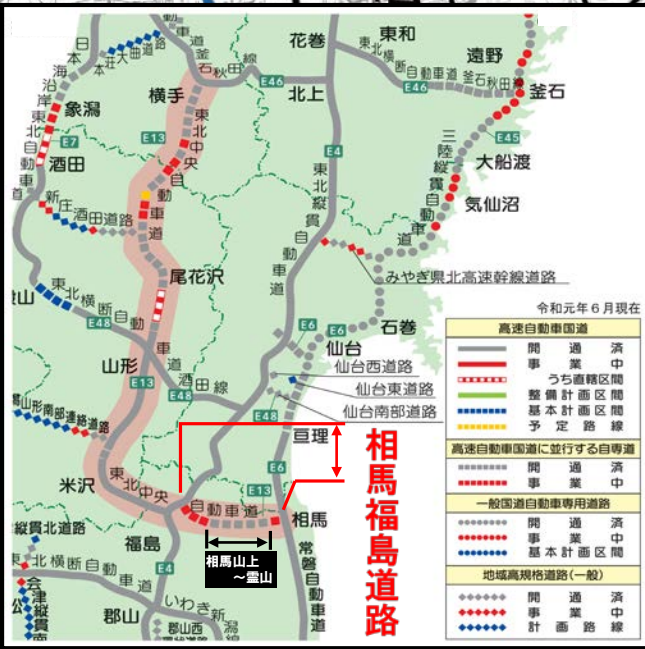
相馬玉野～霊山  
延長17.0km  
平成29年度開通済  
(H30.3.10開通)

相馬山上～相馬玉野  
延長10.5km  
平成28年度開通済  
(H29.3.26開通)

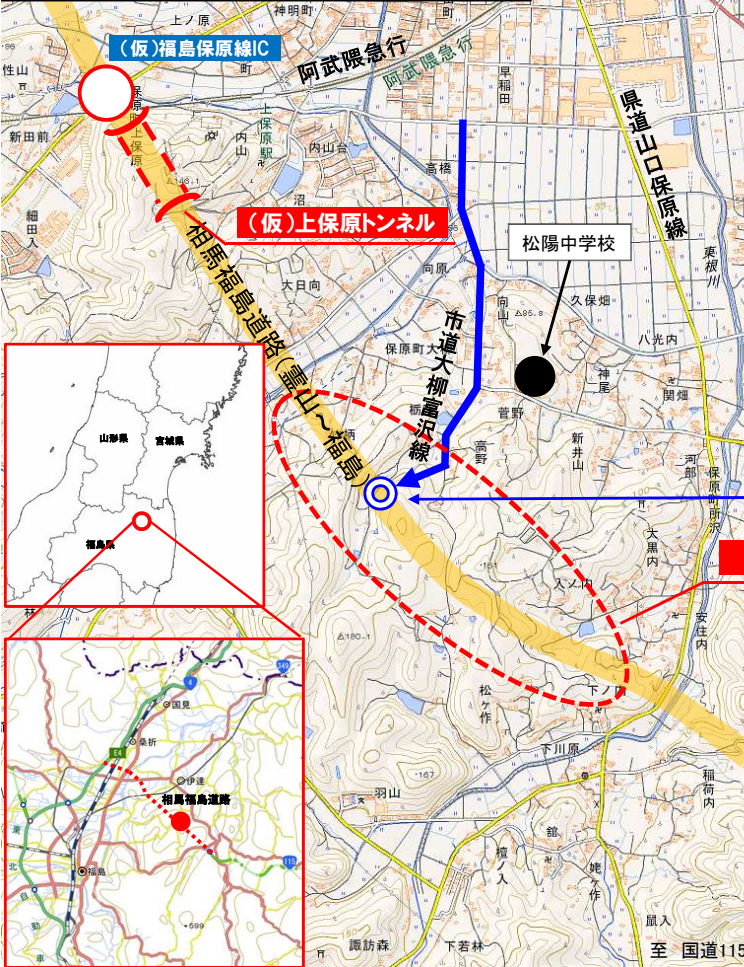
令和元年内開通予定

ICT工事現場

特殊通行規制区間  
落石崩壊・岩石崩壊  
(延長8.0km) (延長11.5km)



◇ 見学会日時: 9月19日(木), 10時55分



位置図①

【集合場所】  
福島県伊達市保原町大柳字栃窪入 地内

ICT工事現場

この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の電子地形図(タイル)を複製したものである。【承認番号令1東複第24号】

◇ 見学会日時: 9月19日(木), 13時25分



位置図②

【集合場所】福島県伊達市下川原 地内

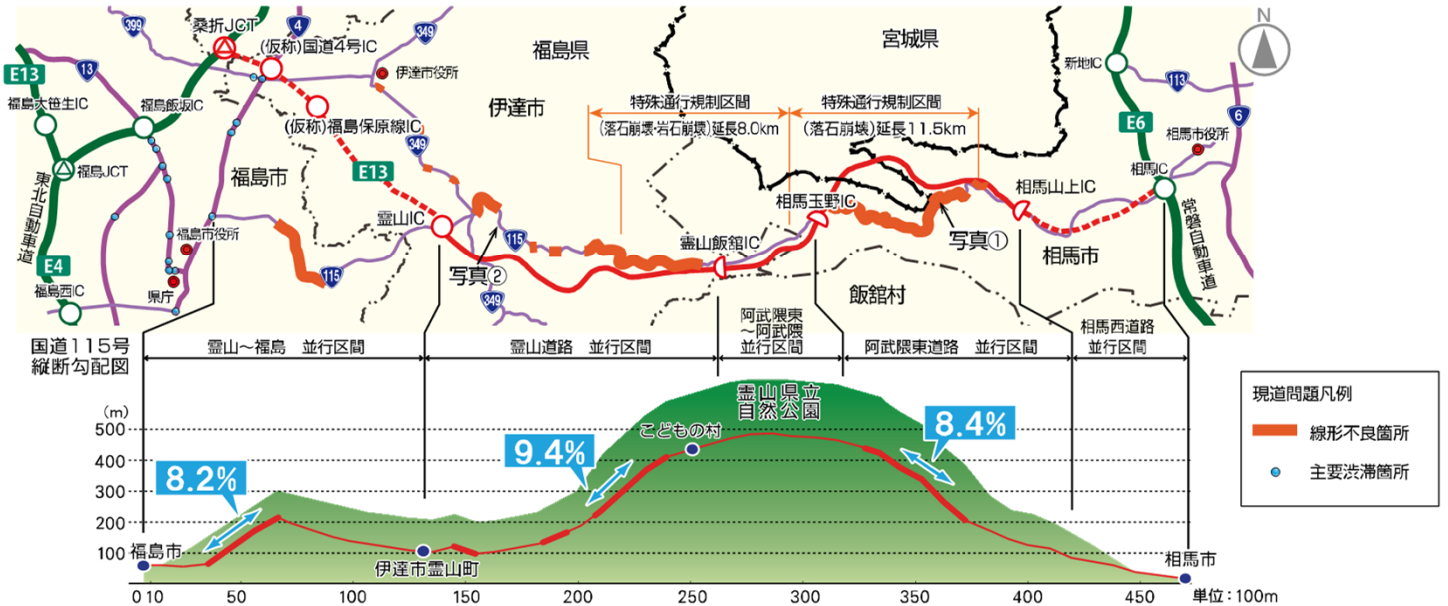
この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の電子地形図(タイル)を複製したものである。【承認番号令1東複第24号】

# 相馬福島道路の整備効果

相馬－福島間を繋ぐ「命の道」  
東日本大震災からの力強い復興に貢献します。

相馬－福島間を繋ぐ国道115号は、信頼性や速達性の改善が求められています。

- ◎国道115号(相馬～福島)は相馬～福島間を繋ぐ主要な道路であり、東日本大震災では沿岸被災の救助・救援活動のために利用される等、防災面においても重要な位置付けにあります。
- ◎しかし、多数の線形不良箇所や事前通行規制区間等があり、信頼性や速達性の改善が求められています。
- ◎平成27年には大雨による道路崩壊で約1週間の全面通行止めが発生し、物流、生活、観光等、多方面に大きな影響が出ました。



① 線形不良箇所(R=25m・l=8.4%)

② 道路崩壊発生箇所(H27)(約1週間全面通行止)



③ 幅員狭小等により大型車のすれ違いが困難



④ 緊急輸送道路として利用される国道115号



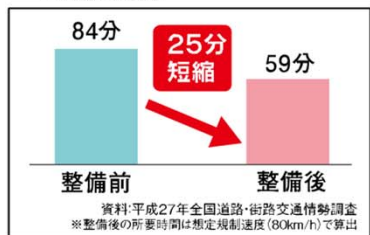
# 相馬福島道路の整備効果

相馬－福島間を繋ぐ「命の道」  
東日本大震災からの力強い復興に貢献します。

安心・安全な救急医療を支援！

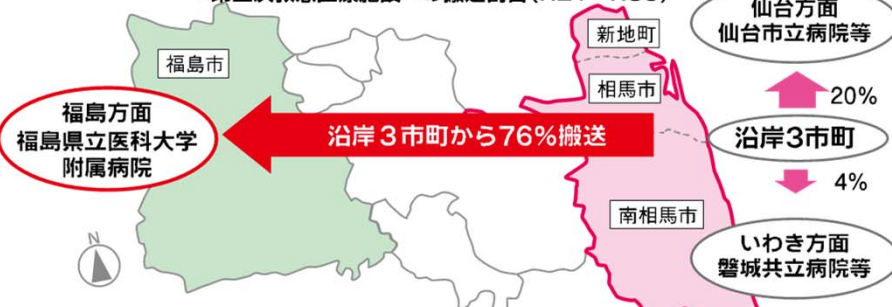
- ◎相馬市等沿岸部は、第三次医療施設がないため、福島市にある福島県立医科大学附属病院へ約8割が搬送されています。
- ◎線形不良が多く、消防署からは搬送時の課題が指摘されています。

▼相馬市役所 → 福島県立医科大学附属病院  
への搬送時間

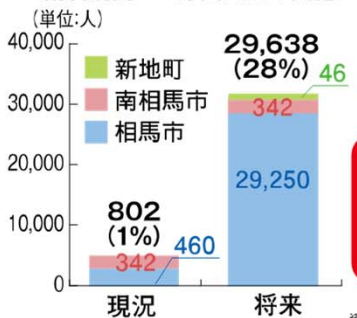


相馬市から福島県立医科大学附属病院(福島市)までの搬送時間が25分短縮、救急医療施設への速達性、輸送時の安定性向上に期待

▼第三次救急医療施設への搬送割合(H21~H30)



▼沿岸3市町の福島県立医科大学附属病院60分圏人口の変化



沿岸地域の福島県立医科大学附属病院60分圏人口が約3万人(28%)と現状に比べ27%増加



■沿岸3市町から第三次救急医療施設への搬送件数(H21~H30)

全搬送件数: 1,163件/10年  
うち、福島方面 882件 (76%)  
うち、仙台方面 238件 (20%)  
うち、いわき方面 43件 (4%)

資料:相馬地方広域消防本部

## 悪天候や災害時においても寸断されない信頼性を確保!

- ◎相馬市～福島市間は主経路となる国道115号に事前通行規制区間などの通行止めリスクが存在します。
- ◎代替路(国道349号・原町川俣線等)も通行止めリスクが存在します。
- ◎相馬福島道路の整備により、悪天候や災害時においても寸断されないネットワークが形成され、安全確実な交通の確保が期待されます。

▼福島県県北地方と相双地方間の通行止めリスク(H11~H30)



### 《航空関連企業の専門運送業者の声》

- ◆冬期はカーブや勾配がきつい国道115号を避け、国道113号で白石ICから東北道を利用しているが、迂回する分、ドライバーの拘束時間が増加し、時間管理が困難な状況。
- ◆相馬福島道路が完成すれば、天候・災害を気にすることなく利用でき労働管理の心配が少なくなる。

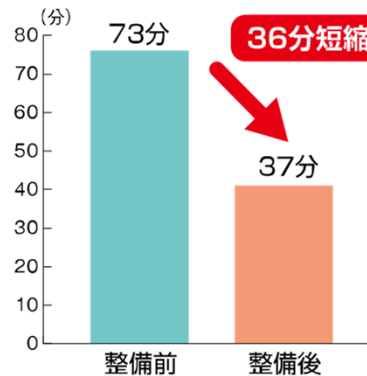
# 相馬福島道路の整備効果

## 効率的な交通経路の選択が可能に!

- ◎相馬福島道路の整備により、相馬～福島間の所要時間が約40分短縮されます。
- ◎縦軸（東北道,常磐道）と横軸（相馬福島道路,仙台南部道路）の高速道路がつながり、効率的な交通経路の選択が可能になります。



### ▼福島飯坂IC⇔相馬IC間の所要時間の変化



資料:平成27年全国道路・街路交通情勢調査  
※整備後の所要時間は想定規程速度(80km/h)で算出

- 凡例
- 有料区間(供用済区間)
  - 有料区間(事業中区間)
  - 無料区間(供用済区間)
  - 無料区間(事業中区間)

## 広域的な観光交流を支援!

- ◎東北中央道（福島～米沢）開通後、福島市の観光施設では山形方面からの来訪者が約2倍に、米沢市では約1.4倍に増加しています。
- ◎阿武隈東道路開通後、相馬市内の観光施設では山形県・福島県内陸部からの来訪者が増加しています。
- ◎相馬福島道路が開通すれば、所要時間の短縮による新たな広域観光周遊ルート形成と更なる地域連携の強化により、交流人口の増加と活発な観光交流が期待されます。

### ■飯坂温泉(福島市)

山形方面からの来訪者が約2倍に増加

開通前 (H28.11)	開通後 (H29.11)
4,900人	9,700人

※「道路統計」データは、NTTコムが提供する「国土情報ナビ」サービスとの連携により、道路開通前後の来訪者数を比較しています。NTTコムが提供する「国土情報ナビ」サービスは、道路開通前後の来訪者数を比較するためのデータ収集が行われており、位置情報は高精度に位置するGPSデータ(精度程度)であり、性別・年齢等の個人を特定する情報は含まれません。

---

道路開通に合わせた地域連携で山形方面からの観光客が増加

### 道路開通で地域連携

相馬、米沢と誘客図る

実行委員会

出典:H29.11.8福島民報

### ▼東北中央自動車道・相馬福島道路開通に伴う広域的な観光周遊ルート形成イメージ

相馬福島道路整備で観光周遊がより広域によりスムーズに

東北中央道の整備前後の米沢市役所⇔福島市役所の所要時間: 60分→43分 (約20分短縮)

相馬福島道路の整備前後の福島市役所⇔相馬市役所の所要時間: 78分→58分 (約20分短縮)

---

### ■上杉城史苑(米沢市)

▼観光入込客数の変化 約1.4倍増加

開通前 (H28.11)	開通後 (H29.11)
43,000人	58,400人

出典:上杉城史苑

---

### ■相馬光陽パークゴルフ場(相馬市)

▼山形県・福島県内陸部の利用者推移

開通前 (H28.4~5)	開通後 (H29.4~5)
709人 (5%)	942人 (9%)

約230人増加

出典:相馬光陽パークゴルフ場

---

「相馬光陽パークゴルフ場管理・運営者の声」

- ◆山形県や中通り・会津方面の参加者から「到着時間が早まった」「走行性が良くなった」との声があがっています。
- ◆相馬福島道路の更なる延伸により、内陸方面からのお客様が施設を利用しやすくなることを期待しています。

# 相馬福島道路の整備効果

## 物流効率化で企業活動を支援!

- ◎東日本大震災において甚大な被害が生じた福島県相双地域において近年工場の新設等の企業の進出が顕著であり、中でも相馬福島道路の整備により内陸部へのアクセス性が強化される相馬港背後圏への企業立地が促進されています。
- ◎港湾と高速道路ネットワークのアクセス強化により、物流の効率化が図られるとともに被災地の産業復興を支援します。

### ▼相馬港および周辺工業団地の企業立地状況



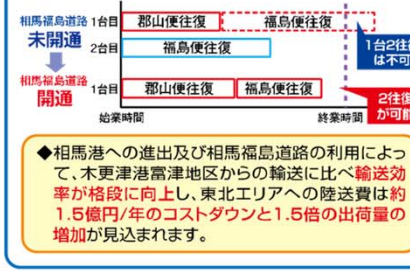
### 相馬港に進出した鉄鋼加工メーカー(H30.6操業開始)の輸送効率化の事例

#### ▼相馬港および周辺工業団地の企業立地状況

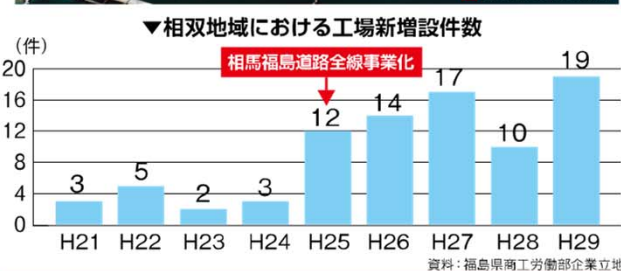
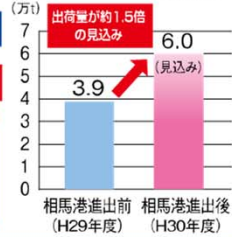


◆高速道路を利用したアクセスが優れることから営業拠点を設けていない山形県等も含め営業エリアの拡大も見据えることができるため相馬港に進出しました。

#### ▼相馬福島道路利用による輸送効率化



#### 東北内の出荷量の変化



## 相馬港と内陸部との連携が強化され、地域産業が活性化!

- ◎相馬港(重要港湾)に立地するLNG基地は、国内最大級の23万キロリットルの地上式LNGタンクを有した福島県内初の大型LNG基地で、平成30年3月28日に操業開始されています。
- ◎内陸部へのタンクローリー車による輸送を計画しており、その際は相馬福島道路が利用されます。
- ◎相馬福島道路が開通すると、内陸部への安定確実なLNGの供給が可能となるとともに、時間短縮が図られることにより、流通エリアや営業エリアの拡大により、収益が上がり、地域産業の活性化・地域雇用拡大が期待されています。

### ▼相馬福島道路を利用した新たな物流の動き



《相馬商工会議所の声》

- ◆平成29年度末に操業開始した相馬LNG基地の進出と併せて、関連企業の誘致を促進していきます。
- ◆相馬福島道路の開通は、相馬中核工業団地への企業誘致や相馬地方の地場産品、工業製品の出荷・流通エリアの拡大や、営業エリアの拡大が可能となり、相馬地域の地方創生に寄与するものと期待し、一日も早い開通を望みます。